

半国山ハイキングの記録（746m）

今日は久しぶりの源流巡りです。前夜の雨で中止になるかなと思っていましたが、天気は回復しました。集合時間が少し早いですが、バス便が良くないのでこの時間になりました。改札口には既に何名かの人が来ていました。今日の参加者は13名です。半国山へは宮川バス停からの登山がポピュラーのようです。22分発のバスに乗車しました。以前来た時もこのバスに乗る人はあまりいませんでした。赤熊に着き13名が下りてしまうとバスに乗っている人は1名のみとなりました。赤熊バス停から登山口を目指して歩き始めました。

- | | | | | | |
|-------|--|----|-------|-------|---------|
| 1：日 時 | 27年7月2日（木曜日） 9時集合 改札口 | 天気 | 曇り後晴れ | 8.2km | 18355 歩 |
| 2：持ち物 | 弁当、水筒、雨具、ストック、スッパツ、その他 | | | | |
| 3：参加者 | 浅野、児玉、長束、万井、大石、杉谷、並木、前野、坂根、後藤、藤井、前窪、空三 13名 | | | | |
| 3：行 程 | 亀岡～赤熊・・・分岐・・・祠・・・音羽分岐・・・山頂への分岐・・・半国山・・・分岐・・・金輪寺分岐・・・宮川神社・・・宮川バス停～榛原～亀岡（解散） | | | | |
| 4：経 路 | 右の地図参照 | | | | |



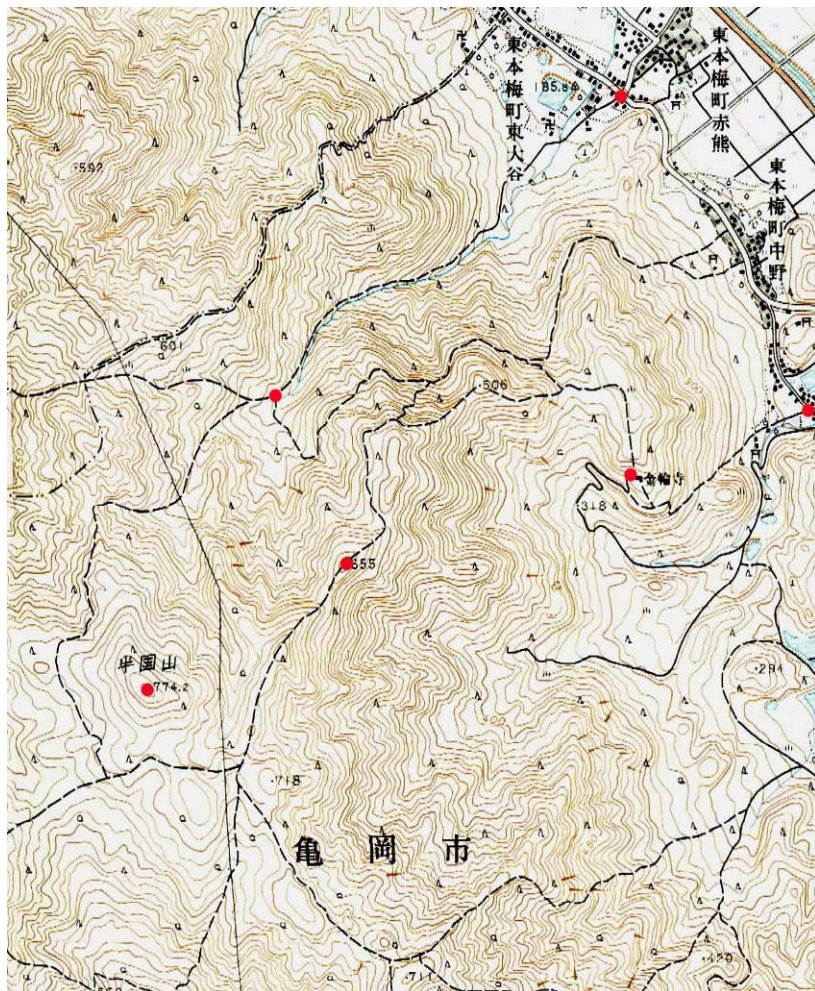
赤熊バス停は田舎のバス停です

周りには何にもありません。少し前を進むとハイキングコースの標識がありました。

道を進むと三叉路になりますが、直進します。歩きやすい山道でした。猪や鹿よけのネットが張ってありました。



しばらく林道歩き



しばらく進むとやがて本格的な山道が始まります。そこには祠があります。





山道は音羽溪谷沿いに続いています。ごろごろ石で歩きにくいところです。小さな音羽の滝が次々と出てきます。雨があったので、水量が大変多いです。また、道にもあふれた水が流れて川の中をすすんでいくような気がします。随分と長く歩いた気がします。やっと音羽の滝分岐に着きました。



分岐点です

音羽の滝分岐から、道は溪谷を離れていきます。息が上がります。やっと前方が明るくなってきました。山頂かな？残念山頂へ続く峠でした。山頂の標識がありましたが、まだ遠いです。



山頂間近か？

道は昨日の雨のせいで川のような状態の中を歩きました。岩も木の根も滑りやすい状態になっています。慎重に登って行きました。



音羽川沿いの道を歩く

やっとの事で山頂に着きました。山頂には5人のグループが食事をとっていました。我々もここで昼食をとることにしました。



昼食の時間



山頂からの展望

山頂で記念写真を撮り、下山しました。急な下りが待っていました。注意しながら下りていきました。イワガラミが咲いているのが見られました。(残念、写真を撮っていません)

金輪寺まで何回か休憩をとり下りてきました。時間を見ると2時を過ぎています。今から宮川バス停まで行けませんが、お寺の見学はできません。そこで16時27分のバスに乗ることし、お寺でゆっくりと休憩をとることにしました。

するとお寺の住職さんがバスの時間待ちのためにお寺の歴史の話をしてくれることになりました。本堂に上がり住職さんの話を聞き時間の調整をしました。歴史あるお寺でした。



金輪寺本堂内部



鳥居のある玄関



頼三樹三郎遺髪墓



半国山登頂万歳

頼山陽の三男であった頼三樹三郎は、この寺の住職さんと交友があったようで、京都から何度もこの寺を訪れているとのこと。この寺は尊皇攘夷派の寺だったそうです。

住職の話をもう少し聞きたかったのですがバスの時間が気になり途中で失礼しました。寺を後にして長い階段を下り宮川神社の前を通過しバス停に急ぎました。30分前にバス停に到着。

バスの中には大勢の高校生が乗っていました。バスは満員状態です。そのため、亀岡まで立ちっぱなしでした。亀岡駅で解散しました。少し疲れましたが、天候に恵まれ 感謝 感謝のハイキングでした。